

事業概要

応募No.	1		
事業主体	北海道 上川総合振興局 旭川建設管理部	事業箇所	北海道旭川市
応募者名	北海道		
ふりがな 事業名称	あさひかわけんとしけいかくどうろ 3・3・8ごうきんせいばしどおり せいびじぎょう 旭川圏都市計画道路 3・3・8号金星橋通 整備事業		

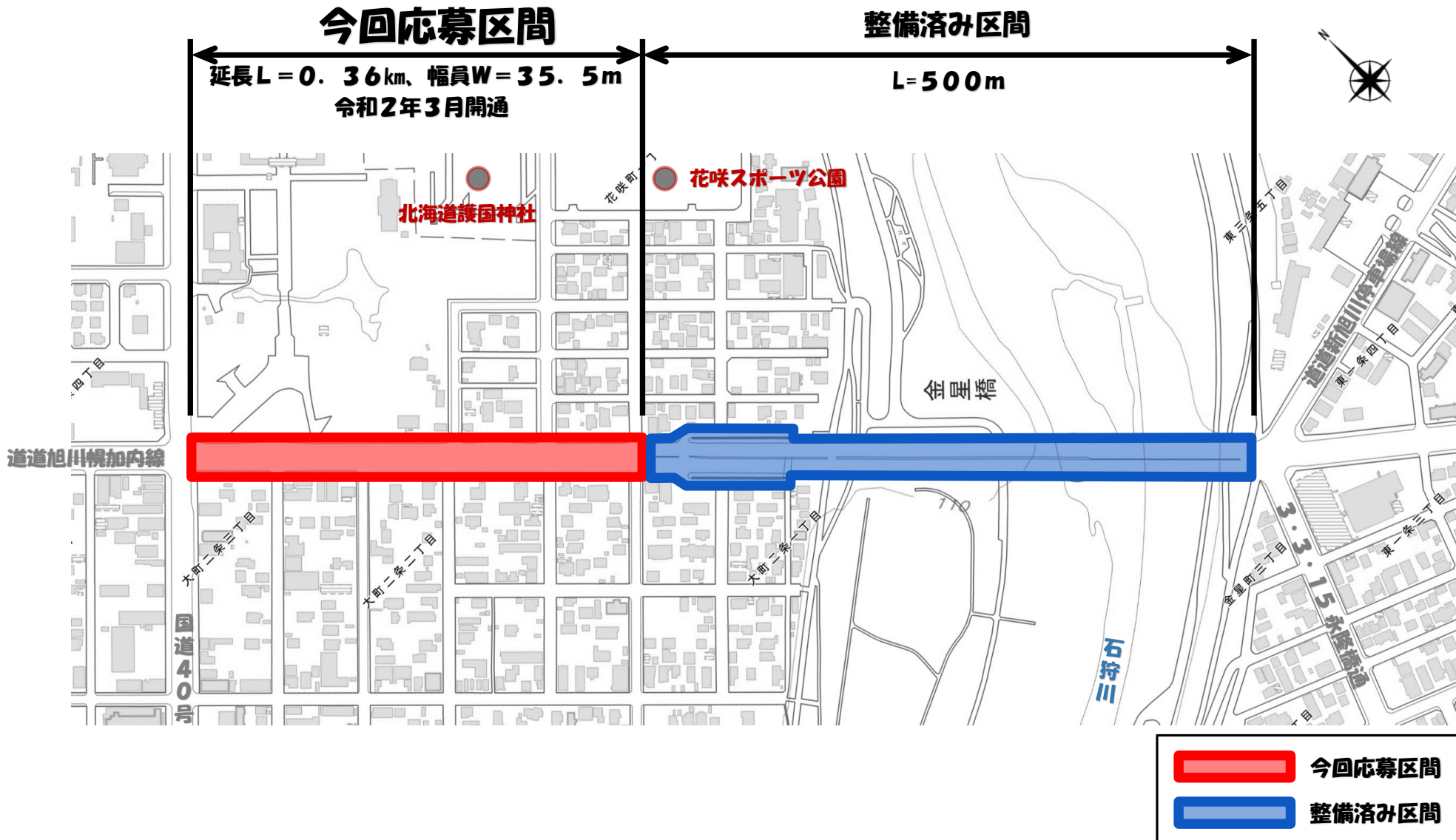
事業概要 (400字以内)	<p>金星橋通は、旭川都市圏の2環状8放射道路網を構成する放射道路であり、国道40号と国道39号、さらに旭川市内中心部を連絡する路線であるが、道路、歩道幅員が狭小のため通行上支障をきたしていたほか、国道40号との交差点においては慢性的に渋滞している状況である。そのため、車道・歩道拡幅を行うことで、都市内交通の円滑化及び歩行者の安全性の向上を図るものである。</p> <p>本事業による効果は以下である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●当該路線への交通分散を行うことで、周辺道路の交通円滑化を図る。 ●車道および路肩の広幅員化、バス停車帯の設置により、渋滞解消を図る。 ●歩道の整備により、歩行者空間の安全性の向上を図る。 								
	事業規模	<table border="1"> <tr> <td>事業延長(km)</td> <td>約0.36km</td> </tr> <tr> <td>幅員(m)</td> <td>35.5m</td> </tr> <tr> <td>事業期間(和暦)</td> <td>平成20年6月24日～令和2年3月31日</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>約20億円</td> </tr> </table>	事業延長(km)	約0.36km	幅員(m)	35.5m	事業期間(和暦)	平成20年6月24日～令和2年3月31日	事業費(億円)
事業延長(km)	約0.36km								
幅員(m)	35.5m								
事業期間(和暦)	平成20年6月24日～令和2年3月31日								
事業費(億円)	約20億円								
受賞歴	有・ 無								
URL	—								

都市計画図(用途地域図)

3・3・8金星橋通
L=0.36km

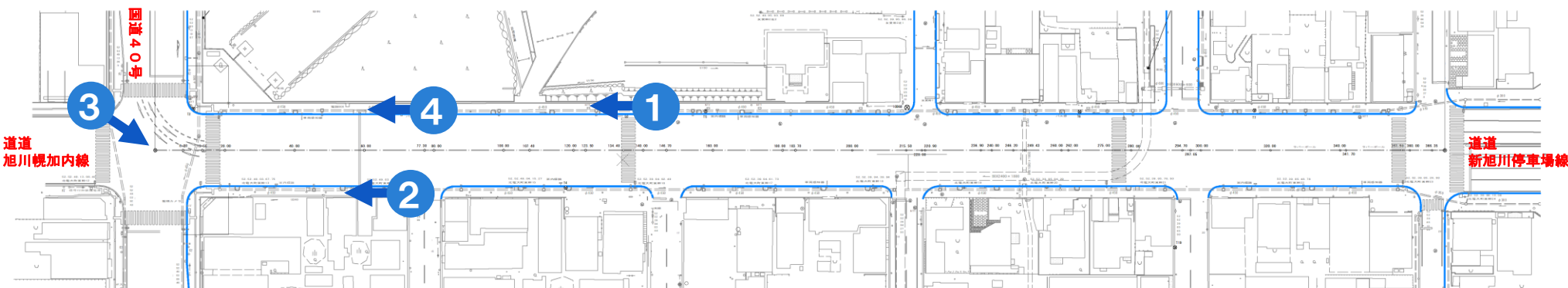
用途地域名	例	
用途	建ぺい率(%)	容積率(%)
第1種低層住居専用地域	40	60
第2種低層住居専用地域	50	80
第1種中層住居専用地域	60	200
第2種中層住居専用地域	60	200
第1種住居地域	60	200
第2種住居地域	60	200
準住居地域	60	200
近隣商業地域	80	300
商業地域	80	400
準工業地域	60	200
工業地域	60	200
工業専用地域	40	200
都市計画公園		
都市計画緑地		
防火・準防火地域		
市街地開発事業(新住・区画整理)		
都市計画施設(市場・処理場等)		
駐車場整備地区・駐車場		
人口集中地区		
高度利用地区		
特別用途地区		
特別工業地区		
大規模集客施設制限地区		
地区計画区域		
都市計画道路		
都市計画河川		
橋		
跨線橋及び跨道橋		
市街化区域界		
行政区域界		
都市計画区域界		

路線全体の進捗状況

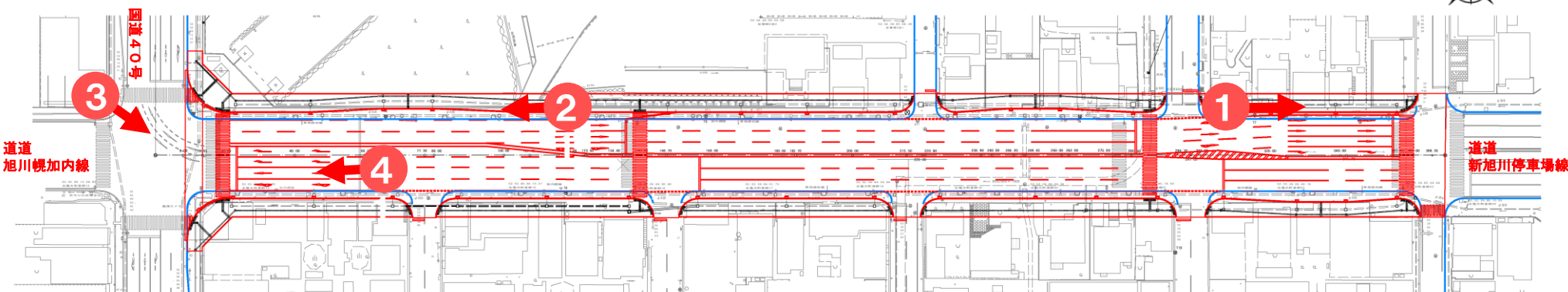


平面図

事業前

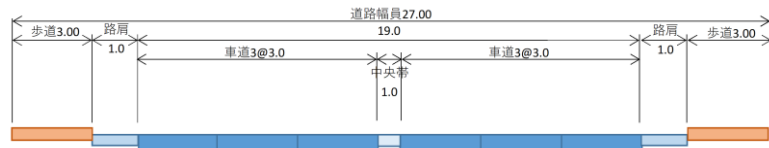
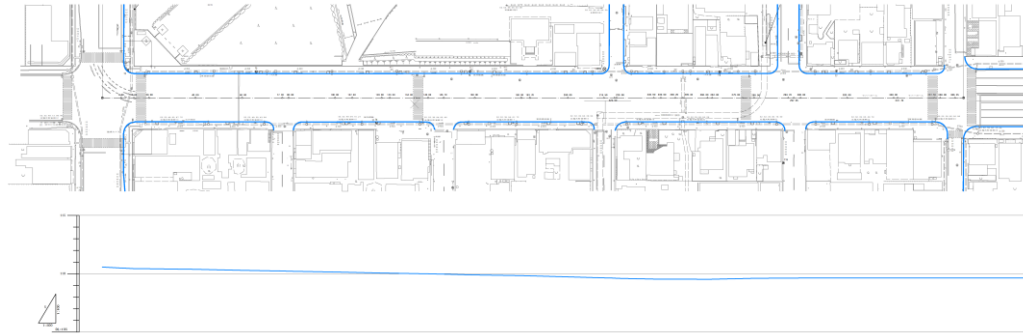


事業後

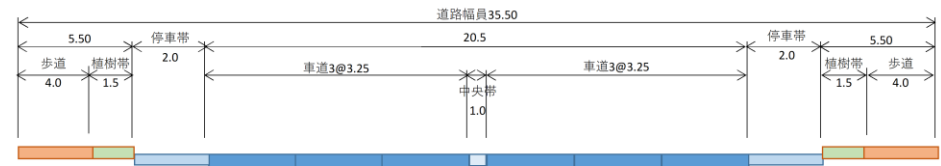
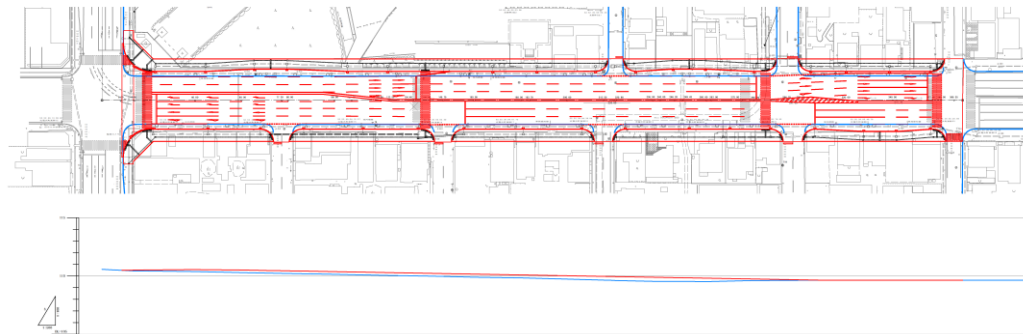


縦断図・横断図

事業前



事業後



事業前写真



平成21年7月撮影

歩道空間が狭く、自転車通学する自転車と混み合っている状況

事業後写真

(北海道：(都) 3・3・8号金星橋通)



令和3年10月撮影

歩行空間が確保され、安全性が向上



平成21年8月撮影

バスの利用者と歩行者で混み合っている状況



令和3年10月撮影

バス停車帯と歩行幅員が確保された歩道空間

事業前写真



慢性的に渋滞が発生

事業後写真



慢性的な渋滞が解消



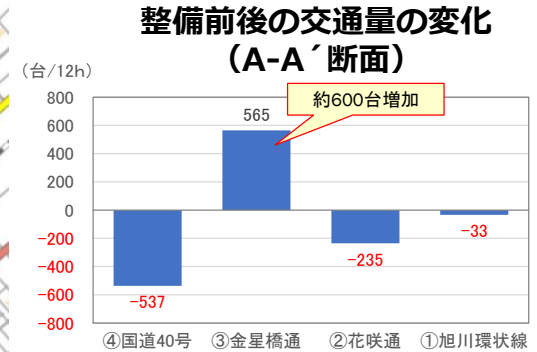
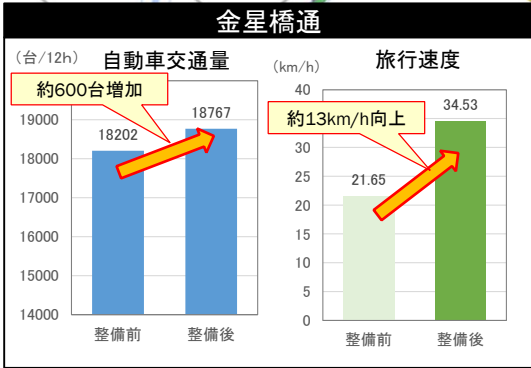
堆雪スペースが狭く、走行車線の減少



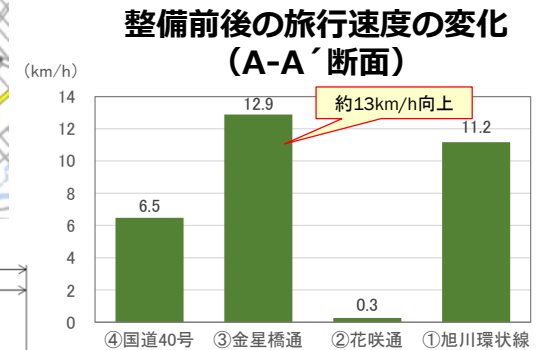
堆雪スペースが確保され、右折、走行車線（4車線）も確保

事業効果アピール資料

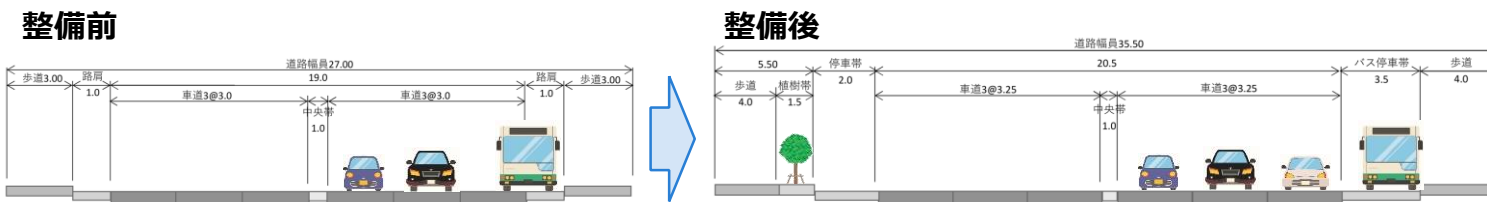
事業区間の整備により、旅行速度が約13km/h向上しました。
 また、当該路線の交通量が約600台/12h増加したことで、平行する
 周辺道路においては、当該路線への交通分散化が図られ、周辺道路
 を含んだ走行性が向上しました。



- ・整備後はR3計測結果
- ・旭川環状線、金星橋通、国道40号の整備前はH22道路交通センサス
- ・花咲通の整備前はH25旭川市計測結果



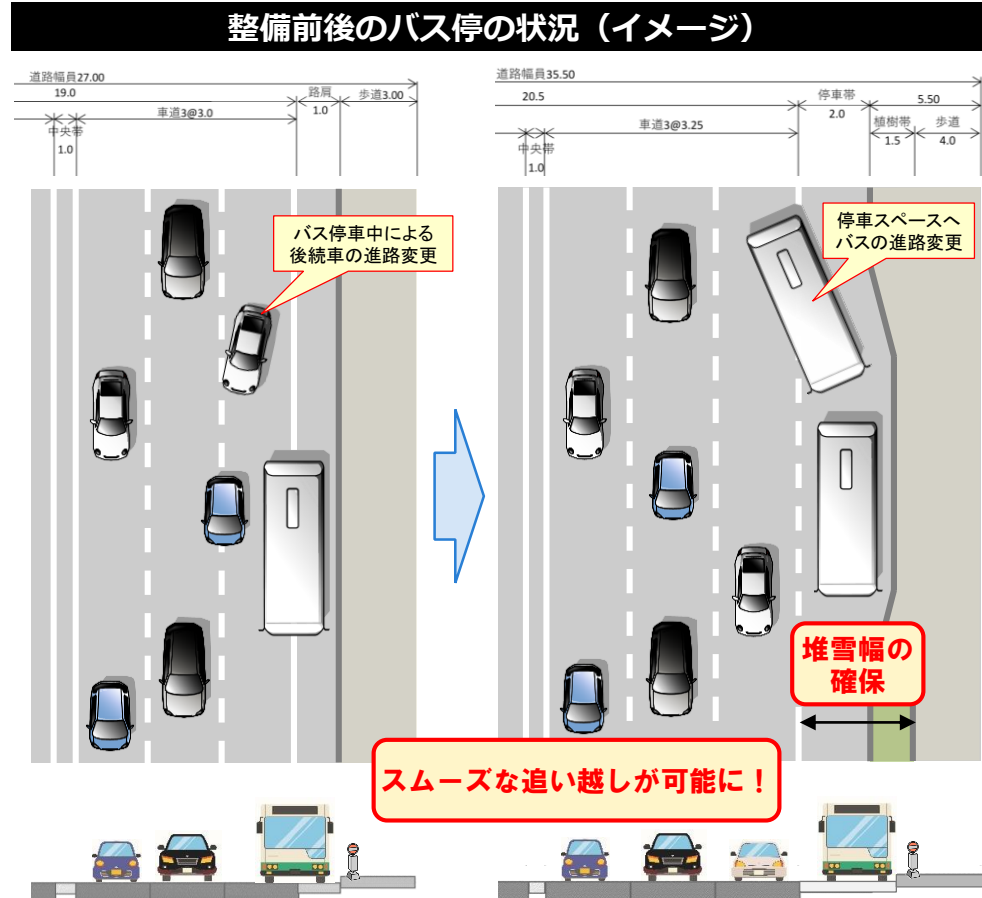
- ・整備後はR3計測結果(朝ピーク時の旅行速度)
- ・旭川環状線、金星橋通、国道40号の整備前はH22道路交通センサスの混雑時平均
- ・花咲通の整備前はR3計測結果から算出



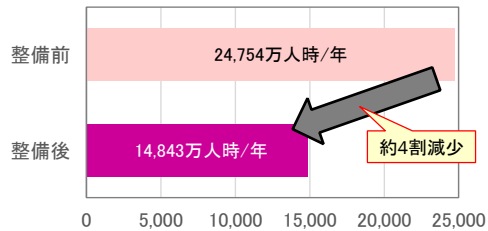
事業効果アピール資料

事業区間の整備により渋滞が解消され、年間渋滞損失時間が約4割減少しました。

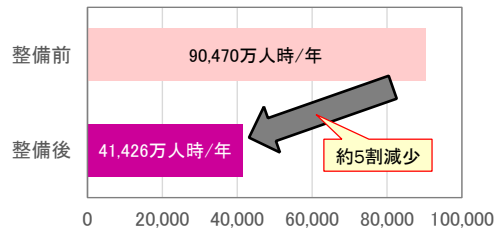
また、平行する周辺道路においても年間渋滞損失時間が減少し、走行時間が短縮され定時性が向上しました。



金星橋通の渋滞状況の変化



周辺道路の渋滞状況の変化

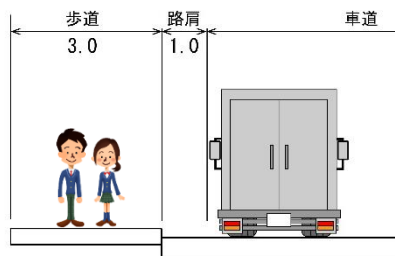


※国道40号、金星橋通、花咲通、旭川環状線の合計
資料：【整備前】H22道路交通センサスをもとに算出 【整備後】R3計測結果をもとに算出

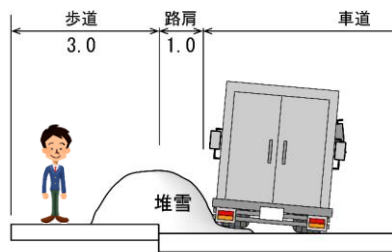
事業効果アピール資料

幅広い歩道、植樹帯の整備により安全で快適な空間が確保され、歩行空間の安全性・快適性が向上しました。

夏期



冬期

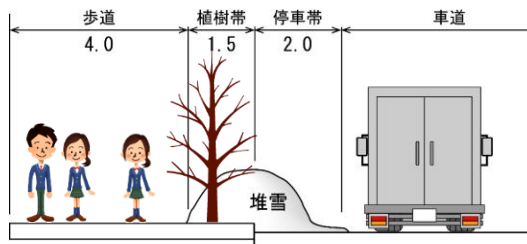
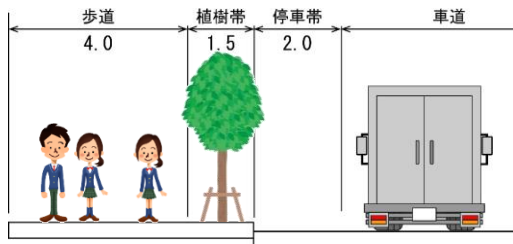


現地の状況



整備前

整備後



苦勞や工夫等アピール資料

4車線確保を行い施工するため施工作业難航が想定されたが交通量を踏まえた交通切り替えと夜間施工を行うことで、現況交通を確保しながらの施工が可能となった。

